9/23(土)に東スポーツセンターにて、第 46 回東海女子学生剣道優勝大会が行われました。名大女子は、中京大学、名古屋市立大学、静岡大学と戦い、予選リーグを通過することはできませんでした。

全試合を通して、各自が自分の持ち味を出し切れていないように感じました。一方的な試合展開であっという間に二本負けするということはほとんどありませんでしたが、自分たちが一本取るというイメージを描けないまま試合が進み、一本取られてしまうという展開が多かったように思います。また、打突部位に“当たった”打ちを確実に一本にするには、残心と打ちの強さが足りなかったと感じます。

女子のチーム全体の課題として打ちが弱いことは常々ご指摘いただいていることであり、改めてこの課題の克服にしっかりと取り組まねばならないと思います。年内の大会は残すところ新人優勝大会のみですが、その後の大会がない期間にしっかりとレベルアップできるよう、真剣に稽古に励んでいきます。

筆者　横井遥佳